

レファレンス

コーナー

ベトナムの統計資料——最近の社会・経済統計資料から——

石崎えり子

ベトナムは長年の戦争や国際紛争のために東南アジア諸国のなかでも特に開発が遅れていたが、一九八六年に市場経済および外資の導入を柱とするドイモイ（刷新）政策が実施されて以降、今日まで経済分野では目覚ましい成長を遂げてきている。また、一九九五年七月にはASEAN加盟を果たし、政治的にも国際社会の一員として認知され、経済への高い関心とともに観光国としても熱い注目を浴びている。このような社会情勢の下で、これまで日本国内からの入手がきわめて困難であった公開資料の公表、出版が近年活発に行われている。政府刊行物取扱い書店である「XunhaSaba」がインターネット上（http://www.xunhasaba.com.vn）を開設しており、資料の直接購入も可能になるなど、一時期からみると隔世の感がある。ここでは、ベトナムの社会・経済を概観するための基本的統計資料について、最近の出版物のなかから英語併記の資料を紹介する。

Statistical Data of Vietnam Socio-Economy 1975-2000 [VIET012] は、南北統一以降のベトナムの人口、文化等をはじめ基本的な社会・経済指標が一九九九年までの時系列で網羅的に掲載されている。また省レベルの統計指標も最新五年分が併せて掲載されている。

Socio-Economic Statistical Data of 67 Provinces and Cities in Vietnam [1999] (VIET014) は、地域格差が大きいベトナムの省レベルに焦点を置き、五七省四政府直轄都市（ハノイ、ホーチミン、ハイフォン、ダナン）別GDPなどの経済指標と教育、保健の社会指標が、一九九五～一九九八年までの四年分掲載されている。各省／直轄都市の社会・経済特性が把握できるのと併せ、国レベルの主要指標も一九八〇年～一九九八年までの長期時系列で掲載されている。前述の資料と同様、ベトナムの全体像を国、省レベルで概観するのに最も適した資料と言える。

Socio-Economic Statistical Data of Vietnam and World Large Cities [1998] (VIET011) は、政府直轄四都市別のGDP、事業所数、主要農業生産品、主要工業製品、地方政府投資支出、小売等の指標に輸送、貿易、観光、教育、保健さらに気象、面積、人口を加えた社会・経済関連指標が一九八五年からの時系列で提供されており、後半部分には世界の大都市の人口、教育を中心とする統計指標も併せて掲載されている。先の省／

都市別資料とは掲載指標の構成などに違いがあるので併せての閲覧をお勧めしたい。この他に北部、中部および南部の経済重点地区の基本的な社会・経済指標を一九九五年～一九九七年までの三年分掲載した、*Socio-Economic Statistical Data of Key Economic Areas in Vietnam* [1998] (VIET012) やドイモイ政策導入前後の社会・経済情勢の概況分析と導入から一九九五年まで一〇年間の社会・経済指標を掲載した *Impetus and Present Situation of Vietnam Society and Economy After Ten Years of Doi Moi* [1996] (VIET013) などがある。

以上の資料がいずれも長期スパンでベトナムの社会・経済の全体像を把握するために役立つ資料であるのに対し、*Major Social and Economic Information Obtained from the Large Scale Surveys in Period of 1990-1996* [1998] (VIET019) は、個別の主題調査毎のエッセンスを一冊に収め、広範な主題についての情報を提供している。ベトナムでは最近ドイモイ政策下の社会・経済の現状分析を目的とする大規模調査が数多く実施、公表されているがすべての主要調査について公表、出版されるまでには至っていない。この資料では、一九九〇～一九九六年の間に実施された大規模調査のうち一六の調査（一九八九年人口センサス、一九九六年労働・雇用調査、一九九五年経済センサス、一九九四年実施の〈公／私〉

形態別企業調査、一九九二年建設調査〈民間企業部門〉、一九九六年外国直接投資地区調査、一九九四年農業・農村センサス、一九九〇年自然林一覽からの指標、一九九四年マリファナ、ポピー栽培調査、一九九四年交通調査、一九九三年観光業調査、一九九五年科学技術ポテンシャル調査、一九九三年生活水準調査、一九九四年世帯調査、一九九四年学校退学率標本調査）が取り上げられ、各調査の主要指標が掲載されている。各調査ともに前述の資料や他の総合統計からは得られない情報も数多く提供されている。ベトナムの社会・経済の現状を把握するための基本資料のひとつ。一九九八年版は初版、第二版は一九九八年～二〇〇〇年の大規模調査を対象に二〇〇一年に刊行されている。

以上の他にも近年数多くの統計資料が出版されているが、統計の精度や用語の英訳等が出版物によって異なるなど不安定で、利用に際しては注意を要する。今後は出版物の質の向上とともにすべての主要調査の結果が公表並びに出版されることを大いに期待したい。

（注）掲載した資料は、すべてベトナム語と英語の二カ国語表記（General Statistical Office（統計総局）編集 Statistical Publishing House 出版である。また、「」は出版年を（ ）は当図書館での請求記号を表す。）

（いしざき）えり子／図書館図書整備課課長代理